



第2580地区 東京豊島東ロータリークラブ

WEEKLY REPORT

創立/1986年2月19日 (会長)廣内 世英 (副会長)渡邊 裕之 (幹事)有我 信行
例会場/〒171-8505 東京都豊島区西池袋1-6-1 ホテルメトロポリタン TEL 03-3980-1111
事務所/〒171-0021 東京都豊島区西池袋2-29-14-101 TEL 03-3985-7577 FAX 03-3590-6644
HP <http://www.toshimah-rc.jp> E-mail info@toshimah-rc.jp

第 1327 回例会 2014 年 3 月 26 日

本日のプログラム

例会 12:30 ~ 13:30
卓話「映画を熱く語る」
映画俳優 千葉真一氏
紹介者 月井雅夫会員

次回のプログラム

理事会 11:15 ~ 12:00
例会 12:30 ~ 13:30
卓話「国際情勢裏表」
元ベルギー大使 佐藤 俊一氏
紹介者 吉田 武輝会員

♪ 今月のソングリーダー 渡辺 裕之会員 ♪

前回の例会報告 2014 年 3 月 19 日

会長報告

米山奨学生キム・スンジャさんに3月分の奨学金をお渡しいたします。

今月をもちまして、キム・スンジャさんは米山奨学期間を終了されました。

一年間皆様のご協力に感謝致します。



幹事報告

- ①ロータリアン国際親睦ゴルフ世界大会のお知らせが届いております。5月18日~24日オーストラリア・アデレードにて開催されます。
- ②3月15日・16日開催の「第26回全国ローターアクト研修会」の御礼が届いております。
- ③地区ローターアクト1月2月活動報告を回覧します。
- ④3月17日(月)池袋西RC主催江戸川乱歩記念小中学生感想文コンクール授賞式と江戸川乱歩邸に模範的奉仕活動の実態を学びに参りました。地

域・教育機関・メディアを巻き込んだ素晴らしい社会・青少年・広報の奉仕活動であり、仕組みづくりと実行力の素晴らしさに感動致しました。

⑤夜間家族例会と台北東海RC訪問のFAX案内を送信致しました。ご出欠のご返事をお願い致します。

⑥「姉妹・友好クラブ」等の名称表現につきまして、当クラブの統一表現は「友好クラブ」であることを確認しました。RIを含め名称規定はありませんが、双方の加重を軽減し伸びやかな親睦交流を実現するためにも当クラブには姉妹名称は存在しません。よって、台北東海RC・浦添RCは「友好クラブ」であります。

■ゲスト

米山奨学生 金 順子さん

■ビジター

池袋西RC 糸魚川 順様

■出席報告

会員	出席参加 会員数	出席数	欠席数	出席率	3月5日分 修正出席率
33名	27名	20名	7名	74.07%	92.59%



私とロータリー



吉田会員



浅原会員



澤田会員

米山奨学生 金順子さんの

卒業お祝い並びに送別会報告

米山奨学生キムスンジャさんの卒業を祝う会が、3月17日（月）18時より、南池袋のしゃぶしゃぶ料理「兼久」にて総勢15名の参加者を得て盛大に行われました。当日は遠路遙々、大邱から若々しい素敵なお両親と可愛い姪御さん2名も参加され、素直で優秀なスンジャさんが育った素晴らしい環境や韓国の礼節などの話に花が咲き、楽しい時間を過ごすことができました。国際奉仕委員会と米山奨学委員会の活動と意義を参加会員全員が理解することができました。



お知らせ

理事会場・例会場変更

4月2日（水）理事会の会場並びに例会場が25Fに変更となります。

理事会「ジュピター」

例会場「ポラリス」



ニコニコBOX

前川会員／あさってから、台湾の台中地区の大会にRI会長代理として行って参ります。

渡辺会員／昨日、クラブ会長エレクト研修セミナーが、終わりました。いよいよ来期が近づいてまいりました。本気で気合いを入れなければと実感を持ちました。来期、当クラブ稲川会長が、地区副幹事を努められます。

佐々木会員／妻の誕生祝ありがとうございました。

4月の例会スケジュール

4月2日[1328]

理事会 11:15～12:00

例会 12:30～13:30

卓話「国際情勢裏表」

元ベルギー大使 佐藤 俊一氏

紹介者 吉田 武輝会員

4月9日[1329]

夜間移動例会（家族会）会場「みやらび」

受付 17:00

例会点鐘 17:30～20:00

卓話「私とロータリー」

中島二三男会員

ガバナーエレクト 鈴木 孝雄氏

4月16日[1330]

例会 12:30～13:30

卓話「地域とともに

最も身近で最も頼りにされる金融機関を目指して」

東京信用金庫本店営業部執行役員

本店営業部長 平野 吉彦氏

紹介者 村中 秀朗会員

4月23日 特別休会

4月30日[1331]

例会 12:30～13:30

卓話「未定」

みんなで語ろう「大いなる仮説」

東京池袋ロータリクラブ

会長エレクト 野口 昇兵氏

こんにちは 東京池袋ロータリークラブの野口昇兵です。

場所を変えたり立場を変えますと緊張いたしますね。長島選手は聞いた処によりますと、毎回 バッテリーボックスに入る時に武者ぶるいがしたそうです。天性の才の持ち主でそうであった訳ですから、私はそうはいかないので日々努力を重ねて行くしか有りません。前川大先輩、佐々木大先輩を始め貴ロータリークラブの方々のご指導により今日まで参りました。今日の卓話の機会を得ました事を心から厚く御礼申し上げます。

今日の演題は「みんなで語ろう、大いなる仮説」一体何なのかと思われるかも知れません。思いますと、我々は、實は毎日仮説に基づいて生きて来ている訳で有ります。

即ち形を申し上げますと、この自己を認識し行動様式を創る事が成長の基で有ります。自分が解らずして相手に色んな事をアタックしても、恐らく、上手く行かないのでは無いか、その自分を解ら占める為には、言ってみればここに有りますように3 Means Systems、3精神の推移が有ります。機器的精神とか社会的精神とか、自己認識的精神とか、機器的精神は、簡単に言うと年齢的には、12歳までの人ではないかと、お祭りに行き、お母さんはお金が無いけれど駄々を捏ねて買って頂戴と、十代・自己中心の時期。社会的精神とは、それからちょっと進んで色気が出てきて、毎朝鏡の前で自分の顔を見たり、学校に行きたくないけど、仕方なく出席している、個人の利益優先では無く社会周囲の為、自己の犠牲で何時も遣って行きたい、責任が有る行動をする、人によって評価されるものですから、Written By Otherの時期。次の自己認証、これは、皆さん毎日自己認証をしていると思います。セルフサービスのセルフという言葉にオーサーリング、オーサーとは作家とか、権威という言葉ですから、自分で創るわけですから Writer Of Our Mind で自分自身が創って行く、この処で理解して頂きたい事は客観的に、一步離れて観る事です。自分自身で定義を創ってみる。何でも、何とか流

を。渡辺流システムとか、廣内流システムとか、自分で創ってしまう。其の事は自分自身で権威を創る、即ち基準を自分で創る。そこでは自己責任が問われますから、責任ある行動をとって行く時期。

まずご理解して頂きたいのは、自分が思ってる事と現実の状態は、一致しないのです。ペンで証明致しましょう。これは、視点を自分の体の中より引き出し外面から客観視する。ペンが御座いましたらお出しになって、皆さんも一緒に遣りましょう。ちょうどペンの真ん中を持ち、高らかに持ち上げ、ペンの先を見ながら時計周りに廻して、だんだんと上から下へと下ろして時計周りに大きく円を描きながら、その上の方から見て下さい。はい、お答えは如何ですか。「逆」、素晴らしいですね。さすが豊島東RCですね、逆なんです。即ち、サイトを変えるとフォーカスは、逆になるわけです。自分の考えが正しいと思っても、相手から見たら実は正しくない訳です。家に帰ってお子さんや奥さんと遣ってみて下さい。物事をする時に、そう思えば簡単に行くのではないかなと思います。

思考のカテゴリの「大いなる仮説」のお話を申し上げます。コミットメントというと、よく日産のゴーンさんが使っておりますね。英語で我々が訳す時は、使命感とか義務とかが有ります、ここでは「信念」と定義づけ「建前」とし、逆には本音があります。お解かりの事と思いますが、建前と本音 と言う所で、何故、建前は喋れるが、何故、本音が喋れ無いか。即ち、不平とか不満が有ったとしても、何故、相手にその事が出来無い理由は、性と言いますか、自己本脳と言うか、自己防衛ですね。それが言ってみると、Commitmentの逆にあるサイトが本音だと思えます。では、本音にどうやって持って行くかとなると、ビックアサンプションという仮説を考える。

初にパワーポイントで説明したように、皆さんの手元にお配りしたレジユメを今一度見て頂きたいと思えます。3つの精神の推移、3 Meaning Systemsを、機器的精神とか、社会的精神とか、自己認証的精神とかに基づいて思考のカテゴリとして「大いなる仮説」を求め様ではないかと。

で、コミットメント・Doing/Not Doing・アザーコミットメント・ビックアサイメント、信念、建前・その信念の留めを置くもの、他の信念を妨げるもの・大いなる仮説。コミットメントを自分の思っている事とし、悪い事でも良い事でも、それを

自分の願望にするには、その一方で出来るか出来ないかと言う、恐怖とか不安を自分自身の中で本当の願望は Other Commitment に有るものを理解する事です。

事例1のところ、同好会の運営について、ロータリークラブの事を言っているのでは有りません。運営が偏った様で他のクラブに移ろうかな、此処に居てもしょうが無いなど、もっと有益な時間を作りたいという方が中にはいらっしゃいますね。最初思っている事と違うじゃないか、理屈を付ければ幾らでも有ります。それは自分の方の理屈ですから、何でも付く訳です。自分の理屈と、相手の理屈は、逆だと思えるならば、理解できますね。Doing/Not doing の処は、例えば、いやな思いや、黙っていた方が良いと、黙って去って行く、どうして辞めたのと聞くと、「あんな処はしょうが無い処だ」「まったく酷い処だ」と。明るく楽しい、そして発展する同好会を私は望んでいたのです。でも現実に自分が辞めて、不平不満を言うのは其処までなんです。

Other Commitment の本音は言わない。表面的な不平不満の方が受けますから、そこでやはり考えなければいけない事は、「問題をどう解決するか」と言う事を考えて行きたい。色んな物を作り上げる時に、色んな意見が沢山ある。その意見をやはり集約的に集めなければならない。集めた中でガス抜きをし、其の中で 最大公約数的に、今、何が一番に、優先順位か、そこを考えるのが重要で有ります。忙しい忙しいと言う人がいらっしゃいます。

「忙しいとは愚か者の錯覚である。」すなわち、プライオリティ（優先順位）を決められない人は、忙しい忙しいと言う。優先順位を付けるならば、今日はこれを行い、午後一は云々。出来ないのはその他大勢だから今日はいいではないか。この物事を単純に遣る事は大切です。

私としては、今日の卓話を基として、我々はロータリアンとして、今後 どのようなロータリーを作り上げ、ロータリアンとして、10人・100人と夫々の意見が有る中で、今、最も必要とする公約数は何であるか、其の事が皆にとって素晴らしいかを考えて行く事が重要です。ロータリーの基本は、職業奉仕と言われますが、職業奉仕の根本は自分自身が生きる生きざま。自分の職業とその誇りある職業観を持たずしてロータリーの活動をしなくても結果は目に見えています。そうではなく、自分の手で、生み出して行く活動としなくてはならない。そうしない

と、新しいメンバーへの対応も難しいものと成ります。

相手に対するリスペクト、ロータリーでは最重要です。ロータリアンは全員主役です。ロータリーに客席は有りません。色んな役職があっても、みんな夫々の役割を担い、ロータリーソングに有るように遠くに居たら「おーい」と声を掛け、お互いを信頼し、創って行こうとの思いが一緒に成っていれば良いのです。

是非、私共としては、新しいロータリークラブとしてひとつの型に嵌ること無く、皆さんが海外に行ったとき、日本の文化・歴史、自分の人生観の基、正しいか、間違いかは別としてお話をなされますから、相手の方も同じように対応なされると思います。

要は、物に対しての思いと価値観をロータリアンは持ち続け、これから行うであろう我がクラブと貴クラブとの、新しい出発の一助と成ればと思っております。私の年度には貴クラブと様々な取り組みを予定いたしたいとも思います。そして大きく成れば良いのでは無くて、一緒に成る事によって何が出来るか。どの様に次の時代に継承出来るかが重要で有ります。其の為にはフィロソフィイ（哲学）の基に世界のどのクラブに行っても我々2つのクラブが新しいクラブとしてロータリー精神を発信する基地と、発信するクラブに致したい思いがあります。

鈴木孝雄ガバナーエレクト、いい顔していますね。毎日勉強していらっしゃるそうです。是非ご協力をお願いいたします。我々と一緒に大いなる仮説を建てながら我がクラブと貴クラブが如何にすれば良いのか、如何にすれば上手く行くのかを、常にエンドレスで、ぐるぐる廻して行きましょう。

ありがとうございました。

